

令和 7 年度
第 1 回益田市国民健康保険事業
運営協議会資料

日 時 令和 7 年 8 月 6 日 14 : 00

会 場 益田市役所 3 階大会議室

益田市国民健康保険事業運営協議会委員等名簿

区 分	氏 名	団 体 名
被保険者を代表する委員 (第1号)	熊 谷 恵 子	
	羽 柴 裕 美	
	久 保 久 三	
	森 本 美智子	
保険医又は保険薬剤師を代表する委員(第2号)	狩 野 卓 夫	益田市医師会
	松 本 祐 二	益田市医師会
	齋 藤 寿 章	益田鹿足歯科医師会
	松 本 英 俊	島根県薬剤師会益田支部
公益を代表する委員 (第3号)	安 野 伸 路	益田商工会議所
	河 上 契 三	美濃商工会
	齋 藤 義 己	益田市シルバー人材センター
	西 川 友 史	益田市農業委員会
被用者保険等保険者を代表する委員(第4号)	西 本 洋 平	全国健康保険協会島根支部
	川 合 葉 子	地方職員共済組合島根県支部
	岡 崎 光 敏	ダイワボウ健康保険組合

益 田 市 (事 務 局)	山 本 浩 章	益田市長
	和 崎 幹 弘	福祉環境部長
	岩 井 加 恵	保険課長
	丸 山 恵 子	保険課長補佐
	三 澤 英 忠	保険課保険係長
	田 中 健 人	保険課主任主事
	澄 川 武 寿	福祉環境部美都分室長
	小 林 晃	福祉環境部匹見分室長
	青 木 茉由子	福祉環境部健康増進課

次 第

- 1 開 会
- 2 会議成立宣言
- 3 会長あいさつ
- 4 市長あいさつ
- 5 議事録署名者の指名
- 6 議 題（協議事項・報告事項）
 - （１）令和６年度国民健康保険事業特別会計決算見込状況について
 - （２）令和７年度国民健康保険税本算定の状況等について
 - （３）第３期データヘルス計画進捗報告について
- 7 その他
- 8 閉 会

1 令和6年度国民健康保険事業特別会計決算見込状況について

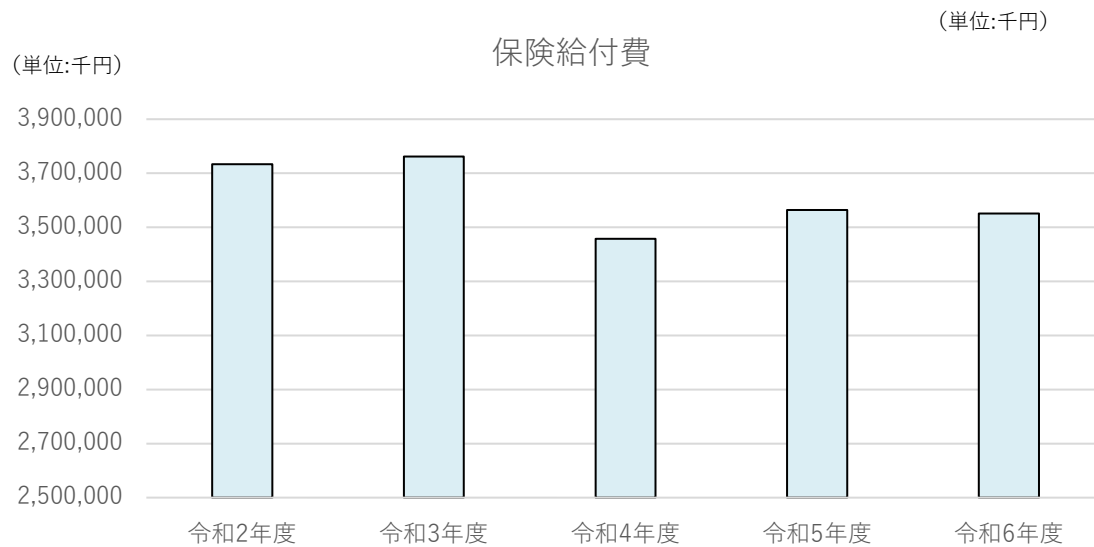
■事業勘定

区 分		R 5 決 算	R 6 予算現計	R 6 決算	比 較	
		A	B	C	C-A	C-B
歳 入	1 国 民 健 康 保 険 税	795,423,244	723,260,000	781,133,056	△ 14,290,188	57,873,056
	現 年 分	782,617,604	703,605,000	760,229,474	△ 22,388,130	56,624,474
	滞 納 繰 越 分	12,805,640	19,655,000	20,903,582	8,097,942	1,248,582
	2 一 部 負 担 金	0	2,000	0	0	△ 2,000
	3 使 用 料 及 び 手 数 料	267,700	400,000	290,300	22,600	△ 109,700
	4 県 支 出 金	3,686,535,552	3,702,154,000	3,667,190,428	△ 19,345,124	△ 34,963,572
	保険給付費等交付金（普通）	3,554,508,259	3,587,467,000	3,540,172,695	△ 14,335,564	△ 47,294,305
	保険給付費等交付金（特別）	131,767,000	114,427,000	126,758,000	△ 5,009,000	12,331,000
	そ の 他	260,293	260,000	259,733	△ 560	△ 267
	5 財 産 収 入	4,893	277,000	276,193	271,300	△ 807
	6 繰 入 金	440,751,882	426,661,000	422,302,162	△ 18,449,720	△ 4,358,838
	他 会 計 繰 入 金	440,751,882	426,660,000	422,302,162	△ 18,449,720	△ 4,357,838
	基 金 繰 入 金	0	1,000	0	0	△ 1,000
	7 繰 越 金	6,985,462	50,877,000	50,877,190	43,891,728	190
	8 諸 収 入	9,410,430	20,546,000	16,516,541	7,106,111	△ 4,029,459
	9 国 庫 支 出 金	169,000	6,478,000	6,477,000	6,308,000	△ 1,000
合 計		4,939,548,163	4,930,655,000	4,945,062,870	5,514,707	14,407,870

歳 出	1 総 務 費	93,878,257	101,792,000	98,682,678	4,804,421	△ 3,109,322
	2 保 険 給 付 費	3,564,146,588	3,602,800,000	3,551,218,928	△ 12,927,660	△ 51,581,072
	一 般 被 保 険 者	3,543,768,434	3,579,812,000	3,529,916,740	△ 13,851,694	△ 49,895,260
	療 養 給 付 費	3,043,973,355	3,062,333,000	3,014,377,150	△ 29,596,205	△ 47,955,850
	療 養 費	17,329,314	16,073,000	16,072,953	△ 1,256,361	△ 47
	高 額 療 養 費	482,055,630	500,805,000	499,041,329	16,985,699	△ 1,763,671
	高 額 介 護 合 算 療 養 費	410,135	600,000	425,308	15,173	△ 174,692
	移 送 費	0	1,000	0	0	△ 1,000
	審 査 支 払 手 数 料	11,800,664	12,295,000	11,150,828	△ 649,836	△ 1,144,172
	出 産 育 児 一 時 金	6,272,241	7,992,000	7,991,360	1,719,119	△ 640
	出 産 育 児 一 時 金	6,269,511	7,988,000	7,988,000	1,718,489	0
	支 払 手 数 料	2,730	4,000	3,360	630	△ 640
	葬 祭 費	2,280,000	2,700,000	2,160,000	△ 120,000	△ 540,000
	傷 病 手 当 金	25,249	1,000	0	△ 25,249	△ 1,000
出	3 国民健康保険事業費納付金	1,062,861,026	1,092,758,000	1,092,756,545	29,895,519	△ 1,455
	医 療 給 付 費 分	715,361,676	757,823,000	757,822,350	42,460,674	△ 650
	後期高齢者支援金分	272,490,924	261,236,000	261,235,564	△ 11,255,360	△ 436
	介 護 納 付 金 分	75,008,426	73,699,000	73,698,631	△ 1,309,795	△ 369
	4 保 健 事 業 費	68,848,053	88,738,000	65,412,391	△ 3,435,662	△ 23,325,609
	5 基 金 積 立 金	68,657,000	1,521,000	1,521,000	△ 67,136,000	0
	6 公 債 費	0	455,000	0	0	△ 455,000
	7 諸 支 出 金	30,280,049	41,591,000	41,077,387	10,797,338	△ 513,613
	8 予 備 費	0	1,000,000	0	0	△ 1,000,000
合 計		4,888,670,973	4,930,655,000	4,850,668,929	△ 38,002,044	△ 79,986,071

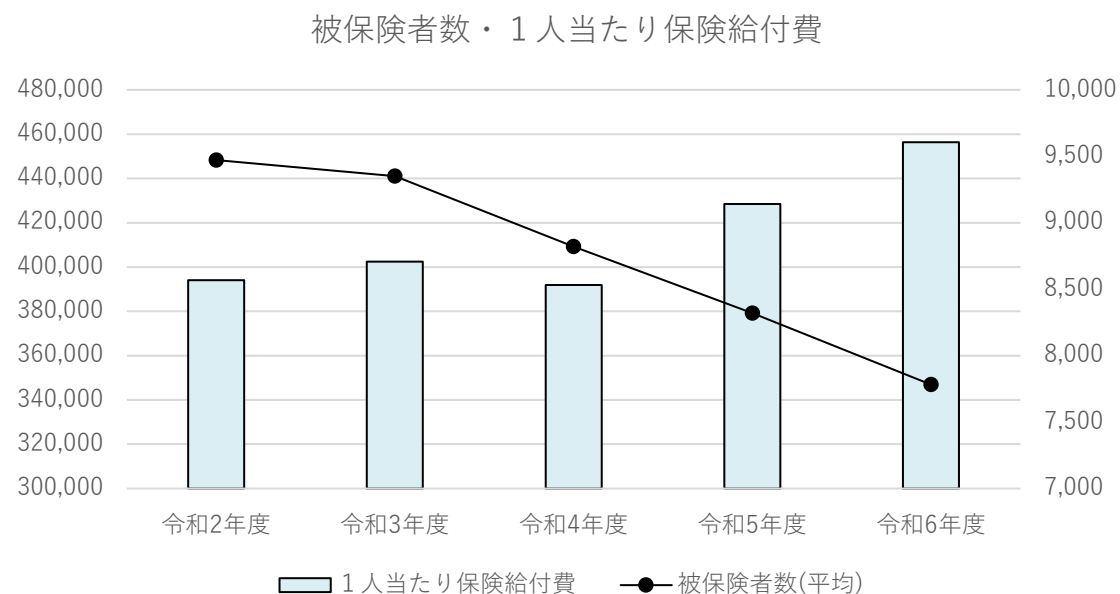
収 支	50,877,190	0	94,393,941		
-----	------------	---	------------	--	--

■保険給付費、被保険者数、1人当たり保険給付費の推移



(単位:千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
保険給付費	3,733,247	3,762,564	3,457,660	3,564,147	3,551,219

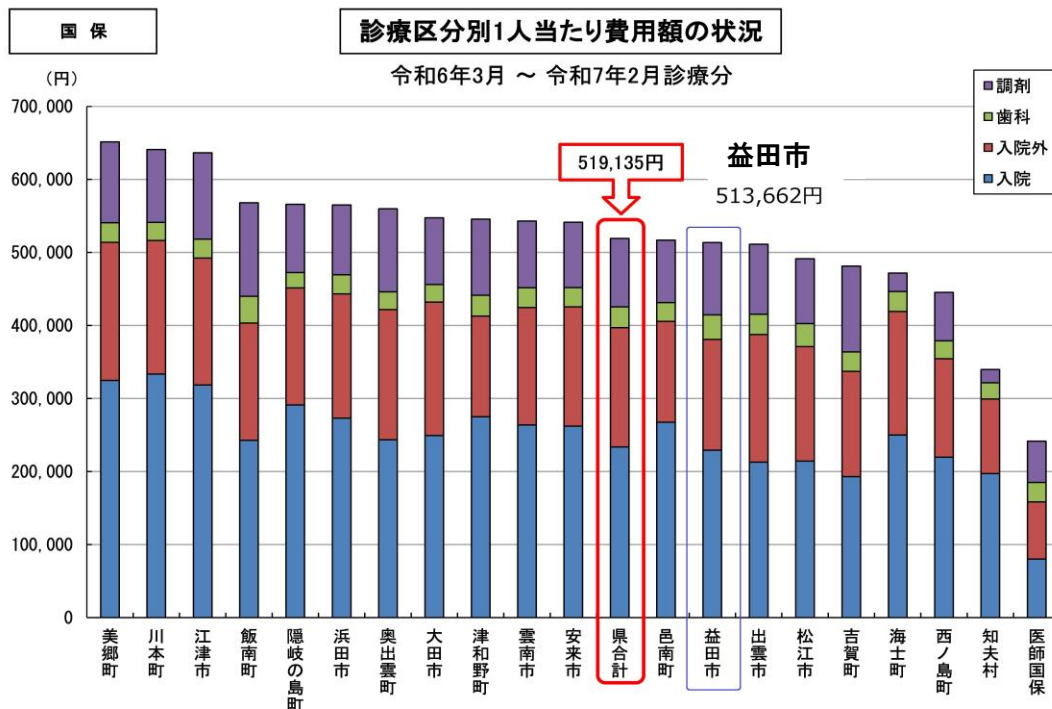


(単位:人、円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	対前年
被保険者数(平均)	9,720	9,472	9,350	8,821	8,319	△502
1人当たり保険給付費	375,127	394,135	402,413	391,981	428,435	36,454

■令和6年度1人当たり費用額の県内状況

島根県国保連合会作成



■令和6年度県内8市の国民健康保険事業基金残高の状況

保険者	令和6年度		
	残高	被保険者数 (R6年度平均)	1人当たり保有額
松江市	1,276,101 千円	30,030 人	42,494 円
浜田市	531,581 千円	8,129 人	65,393 円
出雲市	299,743 千円	27,103 人	11,059 円
益田市	382,341 千円	7,825 人	48,861 円
大田市	177,246 千円	5,904 人	30,021 円
安来市	248,556 千円	6,037 人	41,172 円
江津市	201,520 千円	3,860 人	52,207 円
雲南市	328,659 千円	5,999 人	54,786 円

※令和6年度末基金残高は、令和7年5月時点見込み

■令和6年度県内8市の国民健康保険税（料）の収納状況

R7.5 調査時点

(単位:円)

自治体	区分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率		比較	順位	
						6年度	5年度		6年度	5年度
出雲市	現年度分	2,928,307,217	2,819,223,529	4,080	109,079,608	96.27%	96.40%	△ 0.13	7	7
	過年度分	277,352,803	95,170,533	10,826,185	171,356,085	34.31%	33.09%	1.23	2	2
	合 計	3,205,660,020	2,914,394,062	10,830,265	280,435,693	90.91%	90.78%	0.13	4	4
松江市	現年度分	3,116,372,280	3,003,351,210	93,410	112,927,660	96.37%	96.09%	0.28	6	8
	過年度分	408,262,344	138,259,609	25,339,090	244,663,645	33.87%	28.89%	4.97	3	4
	合 計	3,524,634,624	3,141,610,819	25,432,500	357,591,305	89.13%	87.41%	1.73	5	8
浜田市	現年度分	699,337,100	682,253,189	152,100	16,931,811	97.56%	97.41%	0.15	2	3
	過年度分	84,626,122	12,600,630	15,437,938	56,587,554	14.89%	14.16%	0.73	8	7
	合 計	783,963,222	694,853,819	15,590,038	73,519,365	88.63%	87.90%	0.73	7	7
益田市	現年度分	780,775,100	760,229,474	0	20,545,626	97.37%	97.21%	0.16	3	4
	過年度分	100,564,742	20,903,582	8,143,238	71,517,922	20.79%	13.12%	7.67	7	8
	合 計	881,339,842	781,133,056	8,143,238	92,063,548	88.63%	88.12%	0.51	6	5
大田市	現年度分	549,530,400	532,733,250	0	16,797,150	96.94%	96.44%	0.51	4	6
	過年度分	31,992,783	9,264,195	6,181,805	16,546,783	28.96%	30.80%	△ 1.85	4	3
	合 計	581,523,183	541,997,445	6,181,805	33,343,933	93.20%	92.77%	0.43	2	3
安来市	現年度分	605,637,500	586,879,556	1,200	18,756,744	96.90%	97.03%	△ 0.13	5	5
	過年度分	80,156,096	16,759,658	8,868,921	54,527,517	20.91%	20.31%	0.60	6	6
	合 計	685,793,596	603,639,214	8,870,121	73,284,261	88.02%	88.06%	△ 0.04	8	6
江津市	現年度分	350,766,300	337,378,158	0	13,388,142	96.18%	97.52%	△ 1.34	8	2
	過年度分	17,327,527	3,673,892	5,251,937	8,401,698	21.20%	23.43%	△ 2.23	5	5
	合 計	368,093,827	341,052,050	5,251,937	21,789,840	92.65%	94.52%	△ 1.87	3	2
雲南市	現年度分	570,889,910	563,021,348	0	7,868,562	98.62%	98.48%	0.14	1	1
	過年度分	15,781,366	9,584,843	959,783	5,236,740	60.74%	48.50%	12.23	1	1
	合 計	586,671,276	572,606,191	959,783	13,105,302	97.60%	96.93%	0.67	1	1

■美都診療施設勘定

1 決算見込

【歳入】

(単位：千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年比
1 使用料及び手数料	462	687	451	506	465	-41
2 繰入金	17,905	17,304	22,186	14,684	18,725	4,041
3 起債（過疎債）	0	0	0	0	1,500	1,500
4 諸収入	0	0	0	429	0	-429
合 計	18,367	17,991	22,637	15,619	20,690	5,071

【歳出】

(単位：千円)

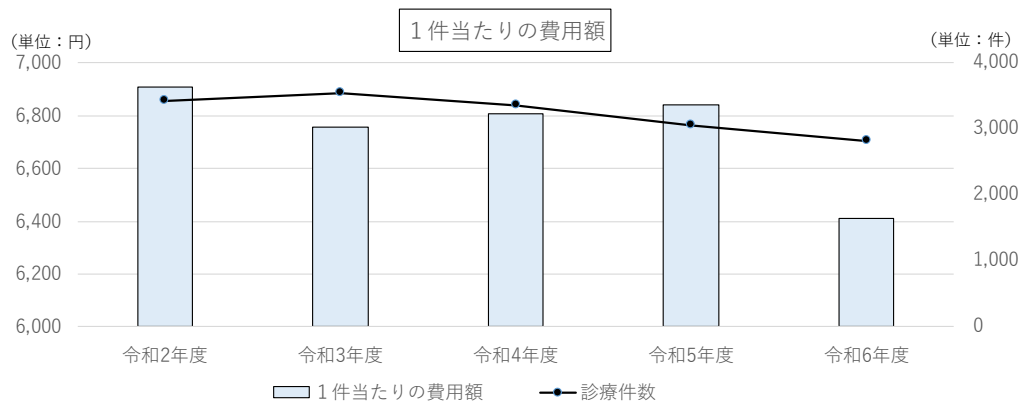
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年比
1 総務費	18,367	17,991	22,637	15,619	20,690	5,071
2 公債費	0	0	0	0	0	0
合 計	18,367	17,991	22,637	15,619	20,690	5,071

歳入歳出差引額	0	0	0	0	0	0
---------	---	---	---	---	---	---

2 診療件数・費用額

(単位：件、円)

	診療件数			費用額		
	国 保	そ の 他	計	国 保	そ の 他	計
令和2年度	505	2,921	3,426	3,553,463	19,625,635	23,673,927
令和3年度	579	2,970	3,549	3,336,730	20,337,197	23,981,213
令和4年度	580	2,778	3,358	4,031,418	19,949,795	22,854,622
令和5年度	551	2,504	3,055	4,259,912	18,594,710	20,905,401
令和6年度	509	2,309	2,818	3,329,859	14,738,906	18,068,765
前年比	△42	△195	△237	△930,053	△3,855,804	△2,836,636



(単位：件、円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年比
診 療 件 数	3,426	3,549	3,358	3,055	2,818	△ 237
1件当たりの費用額	6,910	6,757	6,806	6,843	6,412	△ 431

■匹見澄川診療施設勘定

1 決算見込

【歳入】

(単位：千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年比
1 使用料及び手数料	86	91	101	64	35	-29
2 繰入金	7,871	8,235	8,631	9,088	9,109	21
3 繰越金	15	12	9	14	17	
諸収入		429		3		-3
診療収入	9,303	8,008	7,645	7,559		-7,559
県支出金	1,000					0
合 計	18,275	16,775	16,386	16,728	9,161	△ 7,567

【歳出】

(単位：千円)

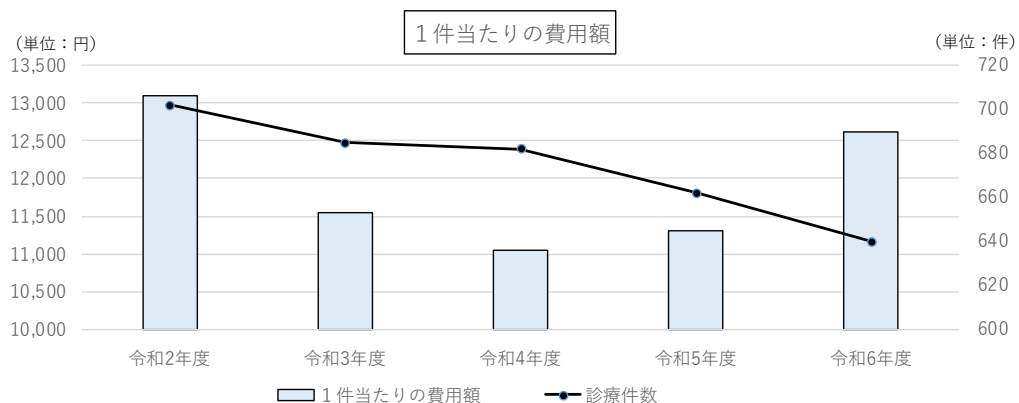
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年比
1 総務費	13,164	12,472	12,496	12,716	9,144	△ 3,572
2 諸支出金	15	12	9	14	17	3
医業費	5,085	4,282	3,867	3,981		-3,981
合 計	18,264	16,766	16,372	16,711	9,161	△ 7,550

歳入歳出差引額	11	9	14	17	0	-17
---------	----	---	----	----	---	-----

2 診療件数・費用額

(単位：件、円)

	診療件数			費用額		
	国 保	そ の 他	計	国 保	そ の 他	計
令和2年度	132	570	702	1,166,255	8,028,117	9,194,372
令和3年度	132	553	685	1,170,716	6,740,653	7,911,369
令和4年度	107	575	682	982,046	6,552,857	7,534,903
令和5年度	105	557	662	974,086	6,506,635	7,480,721
令和6年度	68	572	640	701,814	7,369,475	8,071,289
前年比	△37	15	△22	△272,272	862,840	590,568



(単位：件、円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年比
診 療 件 数	702	685	682	662	640	△ 22
1 件当たりの費用額	13,097	11,549	11,048	11,300	12,611	1,311

■匹見道川診療施設勘定

1 決算見込

【歳入】

(単位：千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年比
1 使用料及び手数料	32	16	7	5	13	8
2 繰入金	9,015	9,389	8,525	8,673	8,305	△ 368
3 繰越金	13	35	28	39	22	-17
諸収入		429	26			0
診療収入	2,173	1,480	1,477	1,375		-1,375
県支出金	1,000					
合 計	12,233	11,349	10,063	10,092	8,340	△ 1,752

【歳出】

(単位：千円)

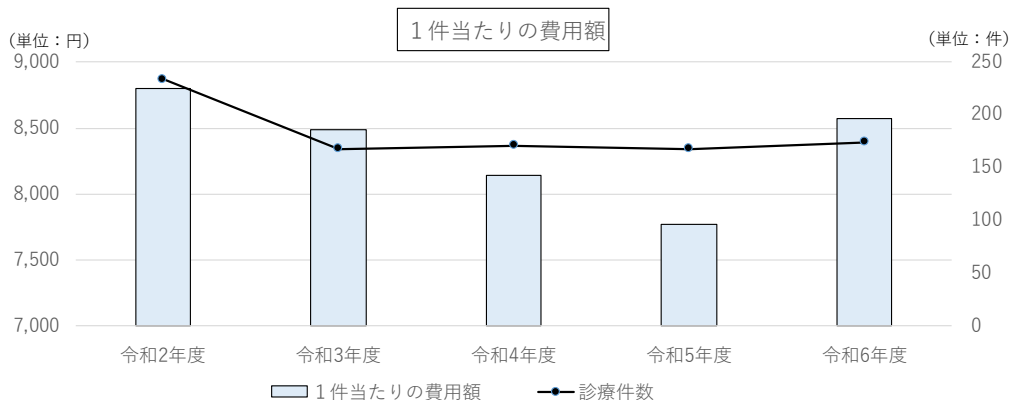
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年比
1 総務費	10,827	10,495	9,100	9,156	8,318	△ 838
2 諸支出金	13	35	28	39	22	-17
医業費	1,357	791	896	875		-875
合 計	12,197	11,321	10,024	10,070	8,340	△ 1,730

歳入歳出差引額	36	28	39	22	0	-22
---------	----	----	----	----	---	-----

2 診療件数・費用額

(単位：件、円)

	診療件数			費用額		
	国 保	そ の 他	計	国 保	そ の 他	計
令和2年度	47	187	234	329,847	1,730,385	2,060,232
令和3年度	34	134	168	283,696	1,142,204	1,425,900
令和4年度	34	137	171	273,703	1,118,566	1,392,269
令和5年度	35	133	168	319,572	985,461	1,305,033
令和6年度	37	137	174	390,097	1,102,153	1,492,250
前年比	2	4	6	70,525	116,692	187,217



(単位：件、円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年比
診 療 件 数	234	168	171	168	174	6
1 件当たりの費用額	8,804	8,488	8,142	7,768	8,576	808

2 令和7年度国民健康保険税本算定の状況について

■予算額との比較

(単位：千円)

区 分		当 初 予 算			R7 本 算 定 d	収 納 率 調 整 d × 0.97 d × 0.20	比 較 (収納率調整 後 - c)
		R5年度 a	R6年度 b	R7年度 c			
歳 入	1 国民健康保険税	770,566	723,260	686,542	850,992	754,485	67,943
	うち現年課税分	750,886	703,605	667,554	758,814	736,050	68,496
	うち滞納繰越分	19,680	19,655	18,988	92,178	18,436	△552
	2 一部負担金	4	2	2		2	
	3 使用料及び手数料	400	400	400		400	
	4 県支出金	3,536,593	3,455,072	3,416,979		3,416,979	
	5 財産収入	22	29	546		546	
	6 繰入金 ※	463,803	463,154	453,571		453,571	
	7 繰越金	1	1	1		1	
	8 諸収入	7,726	8,219	7,866		7,866	
合 計		4,779,115	4,650,137	4,565,907		4,633,850	67,943

歳 出	1 総務費	89,516	97,354	103,934		103,934	
	2 保険給付費	3,432,636	3,355,349	3,306,463		3,306,463	
	3 国民健康保険事業費納付金	1,062,864	1,092,758	1,046,839		1,046,839	
	4 保健事業費	86,542	87,986	86,842		86,842	
	5 基金積立金	90,185	30	547		547	
	6 公債費	411	455	677		677	
	7 諸支出金	15,961	15,205	19,605		19,605	
	8 予備費	1,000	1,000	1,000		1,000	
	合 計	4,779,115	4,650,137	4,565,907		4,565,907	

※ 国民健康保険事業費納付金

1,046,839 ①

※ 繰入金の内、保険税軽減負担の補填分

322,477 ②

1,076,962 ②+③

保険基盤安定繰入金

254,515

未就学児均等割保険税繰入金

1,449

産前産後保険税繰入金

726

財政安定化支援事業繰入金

65,787

※ 保険税収納見込み額

754,485 ③

3 第3期データヘルス計画進捗報告について

第3期データヘルス計画（計画期間：令和6年度～令和11年度）について、令和6年度の実施状況を報告します。

資料Ⅰ

益田市国民健康保険事業運営協議会事務局

益田市福祉環境部保険課

【国民健康保険事業特別会計（事業勘定）用語説明】

区 分		事 業 内 容					
国民健康保険税		国民健康保険事業に要する費用に充てるため、世帯主から徴収する。					
		令和7年度					
	賦課方式	所得割額	13.64%	均 等 割 額	49,830円	平等割額	32,800円
	賦課限度額	医療分	66万円	後期高齢者支援金分	26万円	介護納付金分	17万円
一 部 負 担 金		医療機関において一部負担金に未収金が発生した場合に医療機関からの請求により保険者が徴収する徴収金					
使用料及び手数料		督促手数料					
歳 出 金	普 通 交 付 金	保険給付（療養給付費、療養費、高額療養費、高額介護合算療養費、移送費）に要した費用に基づき交付される。					
	特 別 交 付 金	保 険 者 努 力 支 援 分	取組評価分：国の定める評価指標(医療費適正化やその他保険者の経営努力等)に基づき交付されるもの 事業費分：及び保健事業の推進に要する費用に応じて交付されるもの				
		特 別 調 整 交 付 金	特別な事情（災害、結核・精神疾患、非自発的失業者等）によって交付される。				
		県 繰 入 金（ 2 号 分 ）	市町村毎の状況（医療費適正化、収納率、特定健診受診率、システム改修等）に応じて交付される。				
		特 定 健 康 診 査 等 負 担 金	特定健康診査及び特定保健指導に要した費用に基づき交付される。（国県市負担：1/3ずつ）				
	健康増進事業県費補助金	国の健康増進事業実施要領に基づく「総合的な保健推進事業」における血清クレアチニン検査費用に対して交付される。					
	財政安定化基金交付金	災害などにより多数の被保険者の生活が著しい影響を受け、保険税収納額の低下につながるなど、特別な事情がある場合に交付される。					
財 産 収 入		国民健康保険事業基金の積立利息等					
入 繰 入 金	一般会計繰入金	保 険 基 盤 安 定 繰 入 金（ 保 険 税 軽 減 分 ）	低所得者に対する保険税軽減分の補填（県負担3/4、市負担1/4）				
		保 険 基 盤 安 定 繰 入 金（ 保 険 者 支 援 分 ）	保険税の軽減対象者数に応じた保険者への財政支援（国負担1/2、県負担1/4、市負担1/4）				
		職 員 給 与 費 等 繰 入 金	総務費（人件費・事務費等）に要する費用に対するもの				
		出 産 育 児 等 繰 入 金	出産育児一時金の支給に要する費用に対するもの（支給額の2/3）				
		財 政 安 定 化 支 援 事 業 繰 入 金	負担能力・年齢構成差等に基づく普通交付税措置				
		地 方 単 独 事 業 繰 入 金	県・市単独福祉医療費助成事業等（心身障がい者、ひとり親家庭、児童）の実施により減額された国庫負担金額の補填				
		未 就 学 児 均 等 割 保 険 税 繰 入 金	未就学児に係る均等割保険税の5割軽減に対する、公費負担分の繰入（国負担1/2、県負担1/4、市負担1/4）				
		産 前 産 後 保 険 税 繰 入 金	産前産後期間に係る所得割・均等割保険税軽減に対する、公費負担分の繰入（国負担1/2、県負担1/4、市負担1/4）				
	基 金 繰 入 金	財源調整等のための国民健康保険事業基金からの繰入					
繰 越 金		前年度の決算の剰余金					
諸 収 入		国民健康保険税の延滞金、第三者納付金、返納金、雑入					
国 庫 支 出 金		マイナンバーカードの保険証利用促進の周知に要する費用に対する国庫負担 出産育児一時金増額に対する期限付きの補助					

歳 出	総 務 費	国民健康保険事業の執行に必要な事務費（総務管理費、徴税費、運営協議会費、趣旨普及費）					
	保 険 給 付 費	被保険者の疾病、負傷、出産、及び死亡等に関する給付（療養諸費、高額療養費、移送費、出産育児諸費、葬祭諸費、傷病諸費）					
	国民健康保険事業費納付金	医 療 給 付 費 分	県が県全体の保険給付費の必要額を推計し、公費等（歳入・歳出）の見込み額を加算・減算して、県全体で納付金として集めるべき総額を算出。市町村の医療費水準、所得状況、被保険者数、及び世帯数に応じた割合により市町村ごとに配分した額を納付するもの。				
		後 期 高 齢 者 支 援 金 分	後期高齢者医療制度に係る納付金				
		介 護 納 付 金 分	介護保険制度の第2号被保険者（40歳以上65歳未満）に係る納付金				
	保 健 事 業 費	被保険者の健康保持増進のための特定健康診査、特定保健指導、人間ドック、脳ドックの実施経費、及び医療費適正化に係る経費					
	基 金 積 立 金	運用利子及び決算剰余金の積立					
公 債 費		一時借入金利子					
諸 支 出 金		過年度分の保険税の過誤納還付金、返還金、及び診療施設勘定繰出金等					
予 備 費		予備費を計上					

益田市(国保被保険者)の特定健診を活かした保健事業

【益田市の健康課題(第3期データヘルス計画より)】

- がん・心臓病・脳疾患の死因の割合が高い
- 生活習慣病有所見者割合が高い
- 糖尿病患者の増加
- メタボリックシンドロームの増加
- 脳血管疾患患者の増加
- 生活習慣の改善が必要な者が増加
- 歯科医療費の増加
- 医療費の増加

【目標】

- 1.健康寿命の延伸
- 2.医療費の適正化
- 3.がん、心疾患、脳血管疾患による死亡率の減少
(第3期データヘルス計画より)

特定健診未受診

特定健診受診

異常なし

健康づくりの
情報提供

要指導

腹囲 男性 85cm未満
女性 90cm未満

腹囲 男性 85cm以上
女性 90cm以上
または BMI25以上

要医療

未受診者対策

- ①受診勧奨
通知送付(2回/年)
電話かけ(10月)
- ②告知放送、広報、HP
- ③医療機関等にのぼり旗
ポスター掲示

生活習慣病予防教室 益ます元気教室

糖尿病予防教室

- 服薬なし
- 40～69歳
- ①空腹時血糖110～125mg/dl
または
随時血糖140～190mg/dl
- ②HbA1c 6.0～6.4%
- ①かつ②

高血圧・脳卒中予防教室

- 服薬なし
- 40～69歳
- 血圧 2年連続で
収縮期血圧 130mmHg以上
または
拡張期血圧 85mmHg以上
- 前年人間ドック頸動脈
エコー検査で「要指導
・経過観察」の方

特定保健指導
健康おうえん教室

- 血圧**
収縮期血圧 130mmHg以上
または
拡張期血圧 85mmHg以上
- 脂質**
①中性脂肪 150mg/dl以上
または
②HDL 40mg/dl未満
- 血糖**
①空腹時血糖 100mg/dl以上
または
②HbA1c 5.6%以上

受診後フォローアップ

- 服薬等なく、未受診者
- 血糖**
○尿蛋白(－)(±)
①空腹時血糖 126mg/dl以上
または
随時血糖200mg/dl以上
または
②HbA1c 6.5%以上
(※空腹時・随時に限らず)
- 血圧**
収縮期血圧 160mmHg以上
または
拡張期血圧 100mmHg以上

糖尿病性腎症重症化予防

- 高血圧・脂質異常症・糖尿病の内服なし
- 腎機能**
○尿蛋白(+)以上
または
○eGFR60 0ml/min/1.73m²未満の者
- 血糖**
①空腹時血糖126mg/dl以上
または
随時血糖200mg/dl以上
または
②HbA1c 6.5%以上

- 講演 医師による病態の講演
栄養士による食事の講演
- 計測 血圧、骨密度、血管年齢

健康ますだ市21の連携

- 初回面接：計測、生活習慣アンケート、目標設定
指導：保健師または栄養士 ⇒必要に応じ、医科・歯科受診勧奨
※初回面接後、保健師、栄養士、歯科衛生士が面接内容を
を確認し、必要な指導につなぐ
- 中間評価・継続支援(積極的支援のみ)
指導：保健師または栄養士及び歯科衛生士
- 3か月後面接：計画実績評価 指導：保健師または栄養士
- その他：必要により健康運動指導士による指導実施

- 電話かけ
受診状況の確認
医療機関への受診勧奨
必要時歯科受診勧奨
3か月後、電話で確認

医療機関との連携・協働

- 訪問指導
受診状況の確認。受診勧奨
生活習慣について保健指導
3か月後、電話で確認
未受診者へ再訪問

個別保健事業の評価

(令和 6 年度)

DH 計画ページ

P54 - 56

事業名	1.特定健康診査受診率向上																																																												
事業内容 (特記事項)	※データヘルス計画に記載してある内容のほか、当該年度に実施した特記すべき内容を記載 ・ R6 年度から特定健診の受診期間を延長（従来：6/1 ～ 11/31 R6：6/1 ～ 3/31） 従来の期間だと 11 月頃の繁忙期（インフルエンザ予防接種等）にかけ込み受診があり、医療機関において負担となっていた。その改善と受診機会の拡充をねらいとして実施。																																																												
事業評価	A うまくいった B まあうまくいった C あまりうまくいかなかった D 全くうまくいかなかった E わからない ※アウトプット等の項目を考慮した事業評価を記載 ・ 受診期間を延長したことで、11 月の受診数は 431 件減少した。ただし、その減少を上回る受診がなかったため、受診率は現時点で 47.9%と減少している。（R7.5 時点の暫定値） 期間延長による医療機関へのかけこみ受診を減らすことは出来たが、結果的に受診率は減少したため R7 年度は「早期受診勧奨」「未受診者へ再度受診券を同封して勧奨」などを実施して、受診率向上を図りたい。 なお、「職場健診結果の情報提供」や「治療中患者の診療情報提供（みなし健診）」については、市内事業所や医療機関のご協力もあり、一定数の受診者数を獲得出来ており、今後も継続して実施していきたい。 (特定健診受診率の推移) <table><thead><tr><th>年度</th><th>益田市</th><th>島根県</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>52.1</td><td>46.7</td></tr><tr><td>R2</td><td>51.5</td><td>45.1</td></tr><tr><td>R3</td><td>49.5</td><td>45.8</td></tr><tr><td>R4</td><td>51.2</td><td>46.5</td></tr><tr><td>R5</td><td>51.8</td><td>46.1</td></tr><tr><td>R6</td><td>47.9</td><td>46.1</td></tr></tbody></table> (R6 月別受診者数) <table><thead><tr><th>月</th><th>R5</th><th>R6</th></tr></thead><tbody><tr><td>6月</td><td>213</td><td>303</td></tr><tr><td>7月</td><td>321</td><td>324</td></tr><tr><td>8月</td><td>376</td><td>238</td></tr><tr><td>9月</td><td>459</td><td>337</td></tr><tr><td>10月</td><td>617</td><td>474</td></tr><tr><td>11月</td><td>676</td><td>245</td></tr><tr><td>12月</td><td>129</td><td>48</td></tr><tr><td>1月</td><td></td><td>119</td></tr><tr><td>2月</td><td></td><td>210</td></tr><tr><td>3月</td><td></td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>2662</td><td>2427</td></tr><tr><td>(増減)</td><td>90</td><td>-138</td></tr></tbody></table>	年度	益田市	島根県	R1	52.1	46.7	R2	51.5	45.1	R3	49.5	45.8	R4	51.2	46.5	R5	51.8	46.1	R6	47.9	46.1	月	R5	R6	6月	213	303	7月	321	324	8月	376	238	9月	459	337	10月	617	474	11月	676	245	12月	129	48	1月		119	2月		210	3月			合計	2662	2427	(増減)	90	-138
年度	益田市	島根県																																																											
R1	52.1	46.7																																																											
R2	51.5	45.1																																																											
R3	49.5	45.8																																																											
R4	51.2	46.5																																																											
R5	51.8	46.1																																																											
R6	47.9	46.1																																																											
月	R5	R6																																																											
6月	213	303																																																											
7月	321	324																																																											
8月	376	238																																																											
9月	459	337																																																											
10月	617	474																																																											
11月	676	245																																																											
12月	129	48																																																											
1月		119																																																											
2月		210																																																											
3月																																																													
合計	2662	2427																																																											
(増減)	90	-138																																																											

●目標値

評価指標	目標値（上段：目標値 下段：実績値）						
	計画策定時	R6	R7	R8	R9	R10	R11
電話での受診勧奨者の受診率	-	34%	37%	40%	43%	46%	50%
	31.3%	33.6%					
特定健診受診率	-	52%	54%	55%	57%	59%	60%
	51.2%	47.9%					
継続受診率	-	28%	34%	40%	46%	53%	60%
	27.81%	24.4%					

個別保健事業の評価

(令和 6 年度)

DH 計画ページ

P57 - 58

事業名	2.特定保健指導
事業内容 (特記事項)	※データヘルス計画に記載してある内容のほか、当該年度に実施した特記すべき内容を記載 ・ R6 年度から特定健診の受診期間が延長されたことにより、医療機関から市への結果送付が 5 月上旬となり初回指導の実施までの期間が短く、調整に苦慮した部分もあった。
事業評価	A うまくいった B まあうまくいった C あまりうまくいかなかった D 全くうまくいかなかった E わからない
	※アウトプット等の項目を考慮した事業評価を記載 ・ 集団健診にて、健診当日の初回面談の分割実施率は 100%。（対象者 12 名） 健診直後のタイムリーなタイミングを逃すことなくアプローチできた。 ・ 初回面接後に歯科衛生士に指導内容を保健指導票に記録してもらうことで、次回指導時に歯科衛生士が従事できない場合でも栄養士や保健師が歯科指導を実施することができた。 ・ 運動指導士が従事する日を設け、特に運動指導が必要な人へ直接運動指導を実施した。 ・ 指導拒否や電話不通などで、指導中断者が 4 名（7/8 時点）いる。指導継続が難しい場合もみられるため、タイミングを逃さず指導を実施していきたい。

R6対象者と参加者数（男女・保健指導レベル別）

	積極的支援			動機付け支援			保健指導合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
対象者	49	28	77	129	79	208	178	107	285
参加者	15	13	28	48	25	73	63	38	101
参加率	30.6%	46.4%	36.4%	37.2%	31.6%	35.1%	35.4%	35.5%	35.4%

●目標値

評価指標	目標値 (上段: 目標値 下段: 実績値)						
	計画策定時	R6	R7	R8	R9	R10	R11
特定保健指導終了率		35%	40%	45%	50%	55%	60.0%
	34.4%	17.3%					
特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率		20%	21%	22%	23%	24%	25%
	18.3%	-					

個別保健事業の評価

(令和 6 年度)

		DH 計画ページ	P59 - 60
事業名	3.生活習慣病予防		
事業内容 (特記事項)	※データヘルス計画に記載してある内容のほか、当該年度に実施した特記すべき内容を記載 ・益ます元気教室（糖尿病、高血圧・脳卒中予防講座）では、対象者を見直し一部変更した。病態編では計測会を実施し、栄養編では体験会を実施した。 - 変更点 ・両講座とも、腹囲を条件から外す。 ・年齢の条件を 40～69 歳とする。 ・益田市スマート・ヘルスケア推進事業では、血圧測定に関して、測定した血圧データを個人のスマートフォンで記録管理できるアプリを活用することへ変更した。		
事業評価	A うまくいった B まあうまくいった C あまりうまくいかなかった D 全くうまくいかなかった E わからない ※アウトプット等の項目を考慮した事業評価を記載 ・益ます元気教室では、対象者への案内にチラシを同封し教室の参加の可否に関わらず、情報提供を行った。参加率はそれぞれ目標を達成できているが、新型コロナウイルス流行以前の参加率には及ばず、参加者を増やすために、参加勧奨の方法を検討する必要がある。また、一般参加者の多くが 70～80 歳代であり、既に治療を始めている方が多いため、年齢制限を設け、生活習慣病の予防としての教室として効果的な教室を企画していく必要がある。教室の理解度は目標に達しなかったが、アンケートを見ると測定会や体験会と講演の内容を結び付けて理解されている様子があり、効果的な教室内容となっていると考える。 ・事業所や商工会議所から依頼をうけ、生活習慣病予防の健康教室を開催し、働き盛り世代へ健康意識をもつきっかけとなった。 ・益田市スマート・ヘルスケア推進事業では、新規参加者・事業所の募集のため 12 か所へリクルートを行い、54 人の新規参加者があった。参加者の集いや事業成果（益田研究）について市広報への掲載やパンフレットを作成し血圧管理の周知啓発を図った。		

●目標値

評価指標	目標値（上段：目標値 下段：実績値）						
	計画策定時	R6	R7	R8	R9	R10	R11
糖尿病予防教室参加率		8.5%	10%	11%	12.5%	14%	15%
	6.8%	9.8%					
脳卒中予防教室参加率		7%	8%	9%	10.5%	12%	13%
	5.1%	8.4%					
教室の理解度		95%	95%	96%	97%	97%	98%
	94%	94%					
企業出前講座実施事業所数		増加	増加	増加	増加	増加	増加
	3 事業所	3 事業所					

個別保健事業の評価

(令和 6 年度)

DH 計画ページ

P61 - 62

事業名	4.糖尿病性腎症重症化予防
事業内容 (特記事項)	・対象者の抽出条件を変更し実施した。 国保特定健診または人間ドックの受診結果より 尿蛋白（+）または eGFR60ml/min/1.73m²未満の者のうち①かつ②に該当する者 ① 血圧、脂質異常症、糖尿病の内服なし ② 空腹時血糖 126 mg/dl または HbA1c6.5%以上 ・実施方法では、郵送はやめて、電話または面談による受診勧奨と保健指導をした。 ・健診結果連絡票の返信がない者に対しては、3 か月後に再度連絡した。
事業評価	A うまくいった B まあうまくいった C あまりうまくいかなかった D 全くうまくいかなかった E わからない ・対象者は 12 名おり、地区担当者により、電話で 2 名、面談で 4 名に受診勧奨や保健指導をすることができた（実施率 66.6%）。6 名へ健診結果連絡票を発行できた。また、2 名は特定保健指導で対応した。 ・受診勧奨した 6 名のうち、5 名は医療機関を受診していた。うち 3 名は糖尿病で通院中だった。 ・受診勧奨できなかった 4 名は、3 名は保健指導拒否、1 名は電話不通であった。 保健指導の拒否の理由は、「通院中であり、主治医から生活習慣について指導がないので大丈夫」「主治医に合併症にならない数値だと言われた」「家族から本人への取り次ぎを拒否」だった。 ・益田圏域糖尿病対策検討会が開催され、糖尿病性腎症に関する知識や医療機関の状況を共有することができた。 ・益田保健所での検討会を 2 回行ったが、医師や関係機関と市の糖尿病対策を検討する場は設けておらず医療機関との連携が不十分である。市内医療機関や島根県益田保健所等関係機関との情報交換・協議の場を設け、体制づくりが必要である。 ・世界腎臓病デーにて広報への掲載や保健センター内にある交流スペースへのチラシの設置やロールアップバナーの掲示を行うことで不特定多数の市民へ糖尿病性腎症について啓発できた。

●目標値

評価指標	目標値（上段：目標値 下段：実績値）						
	計画策定時	R6	R7	R8	R9	R10	R11
連絡票発行者の医療機関 受診率		増加	増加	増加	増加	増加	増加
	50%	83%					

事業名	5.がん検診受診率向上																																							
事業内容 (特記事項)	※データヘルス計画に記載してある内容のほか、当該年度に実施した特記すべき内容を記載 R6.8 月より山根病院三隅分院を子宮頸がん検診受託機関として追加して実施。																																							
事業評価	A うまくいった B まあうまくいった C あまりうまくいかなかった D 全くうまくいかなかった E わからない																																							
	※アウトプット等の項目を考慮した事業評価を記載																																							
	・市内ショッピングセンターを検診会場に追加したり（乳がん・子宮頸がん）、休日の検診の実施（全がん）、電子申請による受付（大腸がん）など受診しやすい環境の整備に努めた。受診者数は肺がん検診以外で減少し、受診者を増やすための更なる取組が必要である。																																							
	・発症率の高い年齢等を考慮し、下記の対象年齢に個別の受診勧奨を行った。20 歳、30 歳子宮頸がん検診と 40 歳乳がん検診については無料クーポン券を発行し受診再勧奨も実施した。																																							
	<table><tr><td></td><td>対象 年齢</td><td>対象 者数</td><td>受 診 者</td><td>受診勧奨で 受診</td><td>再勧奨で 受診</td><td>受診率 (前年度)</td></tr><tr><td rowspan="3">子宮</td><td>20歳</td><td>150人</td><td>14</td><td>3</td><td>11</td><td>9.3(9.5)</td></tr><tr><td>30歳</td><td>114人</td><td>44</td><td>11</td><td>33</td><td>38.6(30.3)</td></tr><tr><td>25～29歳 2年未受診者</td><td>572人</td><td>64</td><td>64</td><td>—</td><td>11.2(11.9)</td></tr><tr><td>乳</td><td>40歳</td><td>219人</td><td>71</td><td>46</td><td>25</td><td>32.4(39.9)</td></tr><tr><td>大腸</td><td>50歳</td><td>596人</td><td>50</td><td>50</td><td>—</td><td>8.4(6.3)</td></tr></table>		対象 年齢	対象 者数	受 診 者	受診勧奨で 受診	再勧奨で 受診	受診率 (前年度)	子宮	20歳	150人	14	3	11	9.3(9.5)	30歳	114人	44	11	33	38.6(30.3)	25～29歳 2年未受診者	572人	64	64	—	11.2(11.9)	乳	40歳	219人	71	46	25	32.4(39.9)	大腸	50歳	596人	50	50	—
	対象 年齢	対象 者数	受 診 者	受診勧奨で 受診	再勧奨で 受診	受診率 (前年度)																																		
子宮	20歳	150人	14	3	11	9.3(9.5)																																		
	30歳	114人	44	11	33	38.6(30.3)																																		
	25～29歳 2年未受診者	572人	64	64	—	11.2(11.9)																																		
乳	40歳	219人	71	46	25	32.4(39.9)																																		
大腸	50歳	596人	50	50	—	8.4(6.3)																																		
	・精密検査未受診者に対しては、検診機関より精検未受診者名簿が届くタイミングで未受診者へ勧奨案内を送付（1 回目）し、返事のない方へは電話連絡（2 回目以降）を行い、受診状況の把握、受診勧奨に努めた。																																							
	・集団検診実施機関、委託医療機関と必要時打ち合わせや報告、協議を行い、連携を図りながら実施した。																																							

●目標値

評価指標	目標値（上段：目標値 下段：実績値）						
	計画策定時	R6	R7	R8	R9	R10	R11
受診率		2.3%	2.9%	3.5%	4.1%	4.7%	5.3%
胃がん 男	1.7%	1.5%					
胃がん 女	1.9%	2.4%					
肺がん 男	0.5%	0.6%					
肺がん 女	1.2%	1.6%					
大腸がん 男	6.3%	2.9%					
大腸がん 女	9.6%	6.6%					
乳がん	11.9%	13.1%					
子宮頸がん	13.0%	13.2%					
精検受診率		83%	90%	100%	100%	100%	100%
胃がん	75%	—					
肺がん	100%	—					
大腸がん	67.7%	—					
乳がん	96%	—					
子宮頸がん	69.6%	—					

事業名	6.歯周疾患検診及び口に健康づくり																																																
事業内容 (特記事項)	※データヘルス計画に記載してある内容のほか、当該年度に実施した特記すべき内容を記載 ・40 歳への個別勧奨通知について、1～3 月生まれはハガキを送付、4～12 月生まれは肝炎ウイルス検査通知文に目に留まりやすい通知文を同封した。																																																
事業評価	A うまくいった B まあうまくいった C あまりうまくいかなかった D 全くうまくいかなかった E わからない																																																
	※アウトプット等の項目を考慮した事業評価を記載 ・歯周疾患検診では、検診受診率は目標値には達しなかったが、昨年度と同率であった。年代別では 40 歳の受診率のみ上昇しており、勧奨通知を変更した効果があったと考える。 検診結果では、要精密検査に該当する者の割合が 77%。その後精密検査の受診者は 80%を超えており、歯周疾患の早期発見、治療につながっている。今後受診率が向上するよう、検診期間の延長や周知方法などを検討する必要がある。 ○令和 6 年度受診者数 () は令和 5 年度																																																
	<table><thead><tr><th></th><th>男性</th><th>女性</th><th>計</th><th>受診率</th><th>前年比</th></tr></thead><tbody><tr><td>40 歳</td><td>10 (3)</td><td>17 (14)</td><td>27 (17)</td><td>6.7%</td><td>+2.8</td></tr><tr><td>50 歳</td><td>27 (24)</td><td>38 (52)</td><td>65 (76)</td><td>11.4%</td><td>-0.4</td></tr><tr><td>60 歳</td><td>21 (27)</td><td>44 (50)</td><td>65 (77)</td><td>12.9%</td><td>-1.8</td></tr><tr><td>70 歳</td><td>4 (3)</td><td>4 (10)</td><td>8 (13)</td><td>1.2%</td><td>-0.5</td></tr><tr><td>計</td><td>57</td><td>126</td><td>165</td><td>7.7%</td><td>0</td></tr></tbody></table>		男性	女性	計	受診率	前年比	40 歳	10 (3)	17 (14)	27 (17)	6.7%	+2.8	50 歳	27 (24)	38 (52)	65 (76)	11.4%	-0.4	60 歳	21 (27)	44 (50)	65 (77)	12.9%	-1.8	70 歳	4 (3)	4 (10)	8 (13)	1.2%	-0.5	計	57	126	165	7.7%	0	○検診結果 <table><thead><tr><th>検診結果</th><th>人数</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>異常なし</td><td>13人</td><td>(8%)</td></tr><tr><td>要指導</td><td>25人</td><td>(15%)</td></tr><tr><td>要精密検査</td><td>127人</td><td>(77%)</td></tr></tbody></table>	検診結果	人数	割合	異常なし	13人	(8%)	要指導	25人	(15%)	要精密検査	127人
	男性	女性	計	受診率	前年比																																												
40 歳	10 (3)	17 (14)	27 (17)	6.7%	+2.8																																												
50 歳	27 (24)	38 (52)	65 (76)	11.4%	-0.4																																												
60 歳	21 (27)	44 (50)	65 (77)	12.9%	-1.8																																												
70 歳	4 (3)	4 (10)	8 (13)	1.2%	-0.5																																												
計	57	126	165	7.7%	0																																												
検診結果	人数	割合																																															
異常なし	13人	(8%)																																															
要指導	25人	(15%)																																															
要精密検査	127人	(77%)																																															

●目標値

評価指標	目標値 (上段: 目標値 下段: 実績値)						
	計画策定時	R6	R7	R8	R9	R10	R11
歯周疾患検診受診率		8.8%	9.9%	11.0%	12.1%	13.2%	14.3%
	5.8%	7.7%					
歯周疾患検診受診者で残存歯 20 本以上ある者の割合		100%	100%	100%	100%	100%	100%
	97%	98%					
歯科の健康教室・相談件数		26 回	28 回	30 回	32 回	34 回	36 回
	24 回	44 回					

事業名	7.健康ますだ市 21 活動
事業内容 (特記事項)	※データヘルス計画に記載してある内容のほか、当該年度に実施した特記すべき内容を記載 - 令和 7 年度は「第 2 次益田市健康増進計画」の中間評価の年であり、健康ますだ市 21 推進協議会や各地区健康づくりの会へ評価スケジュールや評価項目等協議する場を設けた。 - 健康課題の多い働き盛り世代へのアプローチを検討する場として、市内の関係機関等と専門会議を開催した。
事業評価	A うまくいった B まあうまくいった C あまりうまくいかなかった D 全くうまくいかなかった E わからない ※アウトプット等の項目を考慮した事業評価を記載 20 地区健康づくりの会では、高齢化や人口減少等もあり様々な団体と連携し、地域特性を活かした健康づくり活動を実施でき、活動回数、参加者数とも計画策定時より多く、目標を達成できた。まだ、毎年健康づくり活動を整理し、成果課題を会員と共有することで部会活動を地区健康づくりの会を中心とした活動に取り入れるなど連動・連携できるようになってきた。しかし、他地区との交流が少ないため他地区の様子を知り自身の地区活動に活かしてもらえるような支援をしていきたい。 - 健康ますだ市 21 フェスティバルでは、健康チェックコーナーの充実や各部会でも体験型の内容を取り入れたことで、250 名の来場者が、自分の健康状態を知り健康づくりへの関心を高めることができた。 - 専門会議として、商工会議所、美濃商工会等、働き盛り世代に関係する機関と健康実態の情報交換を行い、改善に向けての話し合いの場をもつことができた。 - SNS 等を活用し、様々な場面、角度から情報提供を今後も継続して実施し、市民一人ひとりの健康意識の向上につなげていく。

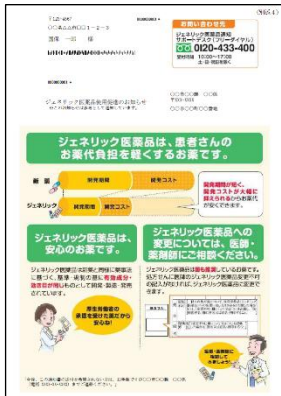
●目標値

評価指標	目標値（上段：目標値 下段：実績値）						
	計画策定時	R6	R7	R8	R9	R10	R11
健康ますだ市 21 フェスティバルの満足度		90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
	89.0%	81.8%					
協議会、各地区健康づくりの会の活動回数と参加者数		800 回 16,600 人	810 回 16,700 人	820 回 16,800 人	830 回 16,900 人	840 回 17,000 人	850 回 17,100 人
	789 回 16,495 人	1,073 回 19,305 人					
健康に関心のある人の割合		増加	増加	95%	増加	増加	100%
	91.2%	—					
健康づくりの会の認知度		増加	増加	80%	増加	増加	100%
	55.8%	—					

事業名	8. 適正受診・適正服薬促進	
事業内容 (特記事項)	※データヘルス計画に記載してある内容のほか、当該年度に実施した特記すべき内容を記載 ・特記なし 計画のとおり実施	
事業評価	A うまくいった B まあうまくいった C あまりうまくいかなかった D 全くうまくいかなかった E わからない	
	※アウトプット等の項目を考慮した事業評価を記載 「服薬情報のお知らせ」を送付したことで、服薬状況が改善され一定の効果が出ている。 「お薬に関するお知らせ」について 通知を受け取られた皆様様へ お薬に関するお知らせは、お薬の服用方法や副作用などの重要な情報をお知らせするためのものです。お薬の服用方法や副作用などの重要な情報	

●目標値

評価指標	目標値（上段：目標値 下段：実績値）						
	計画策定時	R6	R7	R8	R9	R10	R11
重複服薬の改善者割合	-	75%	80%	85%	90%	95%	100%
	73.7%	87.9%					
保健指導実施率	-	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	75%	100%					

事業名	9. 後発医薬品促進															
事業内容 (特記事項)	※データヘルス計画に記載してある内容のほか、当該年度に実施した特記すべき内容を記載 ・特記なし 計画のとおり実施															
事業評価	A うまくいった B まあうまくいった C あまりうまくいかなかった D 全くうまくいかなかった E わからない															
	※アウトプット等の項目を考慮した事業評価を記載 「自己負担軽減例通知」を対象者に発送し、委託業者より下記のとおり結果報告を受ける。 (通知書サンプル) <table><tr><td></td><td>削減効果人数</td><td>削減効果額</td></tr><tr><td>1 回目</td><td>44 人</td><td>58,215 円</td></tr><tr><td>2 回目</td><td>91 人</td><td>133,106 円</td></tr><tr><td>3 回目</td><td>108 人</td><td>130,080 円</td></tr><tr><td>計</td><td>243 人</td><td>321,401 円</td></tr></table> 			削減効果人数	削減効果額	1 回目	44 人	58,215 円	2 回目	91 人	133,106 円	3 回目	108 人	130,080 円	計	243 人
	削減効果人数	削減効果額														
1 回目	44 人	58,215 円														
2 回目	91 人	133,106 円														
3 回目	108 人	130,080 円														
計	243 人	321,401 円														
	上記のとおり、一定程度の効果があるものと考え、今後も継続していきたい。 広報・啓発についても、国保の新規加入者に対し、リーフレットの配布を継続して実施。															

●目標値

評価指標	目標値（上段：目標値 下段：実績値）						
	計画策定時	R6	R7	R8	R9	R10	R11
対象者への差額通知発送率		100%	100%	100%	100%	100%	100%
	100%	100%					

事業名	10.介護予防
事業内容 (特記事項)	※データヘルス計画に記載してある内容のほか、当該年度に実施した特記すべき内容を記載 ・いきいき百歳体操において、低栄養、オーラルフレイル、認知症予防に加え、骨粗鬆症予防についても健康教育・健康相談を実施した。
事業評価	A うまくいった B まあうまくいった C あまりうまくいかなかった D 全くうまくいかなかった E わからない ※アウトプット等の項目を考慮した事業評価を記載 ・各地区健康づくりの会等と協力し、介護予防に関する健康教室を 360 回開催し、延 4,712 人、健康相談を 66 回開催し、延 537 人の参加があった。他機関、他団体と協力することで幅広く周知啓発をすることができた。 ・いきいき百歳体操は新たに 3 団体 42 人が開始し、令和 7 年 3 月末時点で 72 団体 991 人が実施している。いきいき百歳体操参加者を対象に行う健康教育・健康相談では、医療費の高い骨折を予防するため骨粗鬆症もテーマに追加した。低栄養 6 団体、オーラルフレイル 10 団体、認知症予防 24 団体、骨粗鬆症予防 20 団体に健康教育・健康相談を行った。今後も市の健康課題を整理し、健康教育に取り入れていきたい。 ・いきいき百歳体操において、運動機能低下・骨折転倒予防をテーマに、理学療法士、作業療法士が出向き健康教育・健康相談を 15 団体 162 人実施した。令和 6 年度までに約半数の団体に介入しており、今後も継続し、すべての団体に介入をしていきたい。 ・いきいき百歳体操実施団体には基本年 1 回、測定と質問票によるフレイル状態の把握を行った。質問票によるフレイル判定者には後日高齢者福祉課より電話で詳しい様子を確認し、必要に応じて相談を行った。 ・3 課合同会議（各課長、補佐、担当）を 2 回、プロジェクトチーム会議（補佐、担当）を 2 回開催し、関係部署と連携しながら取り組んだ。

●目標値

評価指標	目標値（上段：目標値 下段：実績値）						
	計画策定時	R6	R7	R8	R9	R10	R11
要介護認定率（第 1 号保険者）		減少	減少	減少	減少	減少	減少
	20.7%	20.21% (R6.4 月)					
週に 1 回外出している人の割合（百歳体操実施者）		86%	86%	87%	87%	88%	89%
	85.3%	95.1%					
フレイル・プレフレイルの割合（百歳体操実施者）		減少	減少	減少	減少	減少	減少
	55%	60%					

個別保健事業の評価

(令和 6 年度)

DH 計画ページ

P73 - 74

事業名	11.人間ドック
事業内容 (特記事項)	※データヘルス計画に記載してある内容のほか、当該年度に実施した特記すべき内容を記載 ・特記なし 計画のとおり実施
事業評価	A うまくいった B まあうまくいった C あまりうまくいかなかった D 全くうまくいかなかった E わからない ※アウトプット等の項目を考慮した事業評価を記載 募集締切時点で定員越え（494 名の定員に対し、513 名申込）となり、市広報や HP、お知らせ放送等での周知が十分であったと考える。 日程変更やキャンセル待ちの対応なども実施したが、直近キャンセルなどで代替の受診者がいない場合があり、事業終了時には受診率 100%には達しない結果となった。 実施医療機関である益田赤十字病院・医師会病院へ次年度実施内容について協議を実施。 次年度は脳ドックの定員が 6 名増え、全体の定員が 500 名となる。また、日々の日程変更等の連絡体制を整えた。

●目標値

評価指標	目標値（上段：目標値 下段：実績値）						
	計画策定時	R6	R7	R8	R9	R10	R11
人間ドック受診率	-	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	95.9%	93.6%					
脳ドック受診率	-	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	100%	93.5%					
ドック受診費用助成申請者数	-	30	33	35	37	40	40
	27	30					

事業名	12.特定健診受診後のフォローアップ
事業内容 (特記事項)	※データヘルス計画に記載してある内容のほか、当該年度に実施した特記すべき内容を記載 ・R6 年度から特定健診の受診期間が延長されたことにより、医療機関から市への結果送付が 5 月上旬となり年度をまたいだフォローを実施している。
事業評価	A うまくいった B まあうまくいった C あまりうまくいかなかった D 全くうまくいかなかった E わからない ※アウトプット等の項目を考慮した事業評価を記載 ・集団健診結果報告会では、受診者の約半数が参加しており、受診者の状況に応じた指導ができた。また、精密検査受診勧奨により生活習慣病のリスクの高い人へフォローができた。 ・電話かけでは、要精密検査未受診者 45 人のうち、13 人へ指導ができ、7 人の受診を確認できた。しかし、健診受診から電話かけまで期間が空いたケースもあり、迅速な受診勧奨ができなかった。 ・血糖値高値 13 人、血圧値高値 87 人（内血糖値高値 4 人）のうち、67 人に指導ができ、治療状況の把握や特定保健指導対象の確認ができた。今後は、不在で電話がつながっていない者への対応が必要である。 ・保健所や保健事業支援・評価委員会からの助言を得て事業検討を行い、多角的視点で健康課題を捉え事業の方向性を検討することができた。

●目標値

評価指標	目標値（上段：目標値 下段：実績値）						
	計画策定時	R6	R7	R8	R9	R10	R11
精密検査受診率		62.2%	69.7%	77.2%	84.7%	92.2%	100%
	54.7%	54.3%					
結果報告会参加率		50%	55%	60%	65%	70%	75%
	46.5%	53.6%					
生活習慣病対象者割合		減少	減少	減少	減少	減少	減少
	49.9%	48.3%					